

本書の使い方

- ▶ 本書は、柔道整復師と外国人患者のコミュニケーションを促進するための本です。
- ▶ 施術所でのさまざまな状況を想定した会話文が、日本語と英語（読み仮名付き）で記載されています。
- ▶ 本書を相手に見せ、話したい内容を指差してください。

使用例

1

柔道整復師が指差しをする。

柔道整復師が患者へ、挨拶・案内・指示・質問などをします。

2

患者が指差しをする。

患者が柔道整復師へ、さまざまな回答をします。

1

→ どのような痛みがありますか？



ワット カインド オブ ベイン ドゥー ユー ハブ
What kind of pain do you have?

しきしきと脈打つ

スロビング
Throbbing pain
ペイン

ビーンと痛みが走る

シュッティング
Shooting pain
ペイン

刃物で刺されるような

スタッピング
Stabbing pain
ペイン

鋭い

シャープ
Sharp pain
ペイン

しめつけられる

クランプ ライク
Cramp-like pain
ペイン

2

重苦しい

クラッシング
Crushing pain
ペイン

触れられると痛い

テンダーネス
Tenderness

ひりひりする

ティングリング
Tingling

やけどのように熱い

バーニング
Burning pain
ペイン

わからない

アイ ドント
I don't know
ノウ

その他

アザーズ
Others

How to Use This Book

- ディス イズ ザ ブック トウ ヘルプ ファシリテイト コミュニケーション ビトウーン ア ジュードー セラピスト アンド ア
▶ **This is the book to help facilitate communication between a Judotherapist and a foreign patient.**
- ザ カンパセーションズ イン パリアス シュエイションズ オカリング インサイド ザ クリニック アー リトウン イン ポス
▶ **The conversations in various situations occurring inside the clinic are written in both Japanese and English.**
- ブリーズ ショウ アンド ポイント トウ ザ ネセサリー インフォメーション ワード センテンス
▶ **Please show and point to the necessary information (word/sentence).**

イグザンブル

Example

1 フォー ジュードー セラピスト
For Judotherapists:
ジュードー セラピスト シャル コミュニケイト バイ エクスプレッシング グリーティングス
プロバイディング インストラクションズ アンド ガイダンス アスキング クエッショنز アンド ソー オン
Judotherapists shall communicate by expressing greetings, providing instructions and guidance, asking questions and so on.

2 フォー ベイシエンツ
For patients:
ベイシエンツ シャル レスpond アンド リアクト トウ ザ ジュードー セラピスト
インストラクションズ アンド クエッショنز
Patients shall respond and react to the Judotherapists' instructions and questions.

1 → どのような痛みがありますか？

ワット カインド オブ ペイン ドゥー ユー ハブ
What kind of pain do you have?



2

重苦しい Crushing pain ペイン	触れられると痛い Tenderness ペイン	ひりひりする Tingling ペイン	やけどのように熱い Burning pain ペイン	わからない I don't know ノウ	その他 Others
すきすきと脈打つ Throbbing pain ペイン	ビーンと痛みが走る Shooting pain ペイン	刃物で刺されるような Stabbing pain ペイン	鋭い Sharp pain ペイン	しめつけられる Cramp-like pain ペイン	